



県政と皆様を結ぶ情報誌

神谷まさひろ 活動報告

コロナブスレポート

vol.68

2019.5

発行:神谷まさひろ事務所
〒448-0028刈谷市桜町3-45
TEL 0566-23-0344
FAX 0566-23-1399

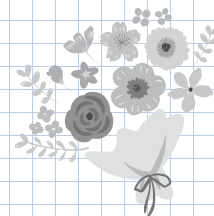
事務長/神野公秀 編集長/榎原直木

今回の愛知県議会議員選挙は私が経験してきた選挙戦の中でも劇的なものとなりました。多くの後援会の皆様のおかげで一つになりその熱いパワーがまさひろさんの後押しをした結果だと感じました。皆様本当にお疲れ様でした。しかし疲れてばかりはいられません。県議会議員としての公務もすでに始まり、6月には市議会議員選挙も待っています。挑戦はまだスタートしたばかり。私も全力でサポートをしてまいりたいと思います。 編集長 榎原直木



「皆様の心を結集して」

県議会議員初当選！



4月7日に行われた愛知県議会議員選挙におきまして、16670票という多くの皆様からのご支援を頂き当選を果たすことが出来ました。今回の選挙戦では大勢の方が自らのフェイスブックに選挙戦での出来事や感想を掲載して下さいました。

選挙戦終盤の4月5日(金)に桜市民館において開催した個人演説会に出席して下さいました方のフェイスブックより3つ紹介します…

facebook

神谷まさひろ氏当選して欲しいです。先程桜公民館で神谷まさひろさんの個人演説会応援会があり参加してきました。沢山の人で溢れかえって満員でした。周りから感動した良い演説会だったという声が飛び交っていました。私もウルッときました。投票日は明後日の日曜日。神谷まさひろさん本当に当選して欲しいです。頑張ってください。

次のページへ

facebook

長い人生で、初めて選挙の個人演説会に参加しました。感動の連続でした。
素晴らしい選挙演説会でした。周りの人も感動で目頭が熱くなっていました。
選挙に必ず行きたいと思いました。
今まで、選挙には関心がなかったが、はじめて熱くなりました。
神谷まさひろさんの当選、是非ともしてほしいです。

facebook

今日の個人演説会は感動的でした。
仏教哲学の鈴木大拙先生の言葉を思い出しました。
先ず心があって衆生がある
衆生があって世界がある
世界があって衆生があり
衆生があって心がある
まるでそんな世界観に引き込まれているようだった。
一般的に考えたら先ず世界があって衆生があるではないのかと思いがちだけど、
心から始まるところが凄い
組織ありきというより心からなんだと教えられているような素晴らしい時間と一体感…
そんな集まりだったように思いました。
皆さまお疲れ様でした。

「苦しい」「頼む」「お願い」だけの演説会
は避けよう、来て下さった皆様には何か
を感じて貰おうと思っているだけに、と
ても嬉しい皆様の感想です。

次に、当選後にフェイスブックへ掲載を
して頂いた中から1つ紹介をします…



facebook

神谷まさひろさん、県会議員当選 本当に本当におめでとうございます。それ以上の言葉が見つからなく最初から最後まで涙涙…感動ありがとうございました。

当選が決まった直後の神谷まさひろさんの話の中から…

『応援して下さいっている市議会議員の皆さんがまるで自分の選挙かと思えるほど一生懸命活動して下さい、その成果が当選に結びついたのだと思います。皆さんのその姿に感動し励みになり、頑張り抜く事が出来ました。取り組みたい政策はしがらみのない政治、すべての人に優しい社会作り…障がい者・高齢者・子ども 弱い立場に向けた優しい政策、それが元氣な経済そして元氣な世界に繋がって行くと思っています。これからがスタートです』と仰っていたのが印象的でした。

それを聞いて更に感動の涙涙の嵐でした。こんな素晴らしい選挙活動を肌で感じられた事を焼き付け、自分も出来る範囲で無理せず、住みやすい街作りを他人事でなく自分の事のように捉えて行きたいなと感じる事が出来ました。本当に本当におめでとうございます。これからも応援して行きたいです。これからもヨロシクお願いいたします。

選挙中「皆様の力を結集して」と話していましたが「皆様の心を結集して」という表現の方が相応しかったのではないかなと思えるような嬉しい文章です。ありがとうございます！

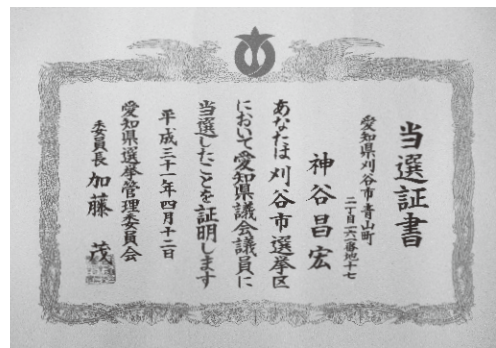


Topics

当選証書付与式

4月12日、愛知県議事堂において当選証書付与式が行われました。

始まる前に通された控え室には、新人で無所属と思える議員が私を含めて3名。話をして判ったことは、一人の方は減税日本の公認候補であり、減税日本は4年前に議席を失い、現在現職議員はゼロであるため、既設の会派控え室がなくてこの部屋に通されたこと。もう一人は自民党に所属しておられるのですが、公認が得られず無所属で出馬されたとのことでしたので、どうやら全くの無党派・無所属の新人は私ひとりということかもしれません。



今朝、自宅を出発前に今回の選挙で応援して下さった仲間の一人からこのようなメールが届きました。「今日から新たな試練だな。大丈夫みんなついている、胸張って堂々と行こう」

そうです。皆さんの応援を背中に受けて、仲間と一緒に船出です！ 臆することなく、しっかり頑張ります！

Topics

名古屋三河道路 整備計画

愛知県議会議員の任期のスタートは4月30日。当選後初の議会となる臨時議会は5月27日なのですが、それ以前にいくつもの会議が開催されました。県会議員になると各種協議会などの顧問などに就任することになり、それらの会議が複数あるのです。5月中に開催された建設関係の会議だけでも…

- 5月10日 土木事業促進要望会
- 5月13日 名古屋三河道路総会
- 5月14日 衣浦豊田道路建設推進協議会総会
名古屋岡崎線建設推進協議会総会
境川・猿渡川水系改修促進同盟会総会

5月23日 矢作川境川流域下水道推進協議会総会

5月24日 名古屋三河道路要望会

5月30日 名豊道路建設推進協議会総会

これらの中から、[名古屋三河道路]について説明をします。

この道路は岡崎市から安城市・刈谷市を通り、平成大橋と衣浦大橋との間に新たに橋を架け、知多市を通して将来的には飛島まで結ぶことにより物流の効率化を図る道路です。

先ずこの地域のポテンシャルは…

■日本一の製造品出荷額(愛知県=約46兆円=全国1位)
を支える地域です。

西三河 25.4兆円(愛知県内の55%)

知多 5.1兆円(愛知県内の11%)

■名古屋港は日本一の自動車の輸出港

一方、道路整備における問題点としては…

国道23号線の渋滞が挙げられます。この渋滞が地域の物流活動を阻害しており、国道23号線は更に蒲郡バイパスの工事を推進中であり、開通後は更なる交通量の増加が懸念されています。

■道路完成後の期待される効果は…

刈谷市～飛島間における時間の短縮

現在 約68分(国道23号線経由)

完成後 約44分

この間の時間短縮といったメリットだけでなく、国道23号線そのものの渋滞が緩和されます。

物流効率化による生産性の向上

刈谷市～安城市間の国道23号線に発生している渋滞が大幅に減少し渋滞損失額

現在約78億円→完成後 ほぼ損失なし



Topics

【無党派・市民派の挑戦】は続きます！

今回の県会議員選挙において私は[無党派・市民派の挑戦]を掲げて皆様に訴えてまいりました。では、そもそも[無党派・市民派]とはどういうことなのでしょう。私の考える[無党派・市民派]の定義は次のようなものです。



無党派とは…

- ◎政党に所属していないということだけでなく、既得権を持つ特定の組織・団体などから支援を受けていない人

市民派とは…

- ◎しがらみなく、フリーハンドで発言できる人
- ◎議員になることが目的ではなく、議員になって何をするか(具体的施策)がある人
- ◎判断するときのスタンス、姿勢や立場がはっきりしている人
- ◎市民一人ひとりに寄り添い、弱い立場の人の声を聞く人

そしてこの[無党派・市民派の挑戦]は、今回の県議会議員選挙が[終わり]ではありません。あくまで「始まり」です。[無党派・市民派]の風を市議会議員選挙に繋げて行きたいと思っています。

ということで、6月に行われる刈谷市議会議員選挙に同じ志を持った仲間7名が挑戦します。5名は今回の県議会議員選挙において応援をして下さった政党に所属していない現職の市議会議員、そして2名は志に賛同して仲間に加わって下さった新人です。この7名の挑戦者を私も応援しています。



蜂須賀信明



星野雅春



鈴木絹男



新海真規



古沢ひろき



上田昌哉



城内しづ

政党に所属している無所属？

4月25日(木)の中日新聞三河版に「党派色」というタイトルで興味深い記事が掲載されていました。

蒲郡市において、これまでの選挙では自民党籍を持つ候補者も「無所属」で立候補していたものが、今回の市議選では自民系現職のほとんどが党の公認を受けて立候補したということです。

私が[無党派・市民派]にこだわるのは、「選挙で皆さんに約束したことに忠実に議員活動をしよう」という思いがあるからです。自民党籍なのに「無所属」と名乗って立候補する理由として新聞では次のように述べています。「党派色は抑え、地域の多様な民意の受け皿になろうとするからだ」つまり無所属と名乗った方が、広く大勢の方の支援を得られるからなのです。

私自身もかつて5度の市議選においては、実際は自民党籍であったにも拘らず「無所属」として出馬をしました(ルール上は許されているのです)。しかし実際の議員活動において、市民の皆様方の声よりも所属している政党の事情を優先させてきたことが何度かあったことは事実であり、その度に「選挙で約束をして来た事に正直でないよなあ～」と思っていました。そこで、安保法制に対する政策的なズレも生じたこともあり、今から3年ほど前に3名の仲間と共に自民党を離党したのです。

市会議選挙届出の際に公明党さんや共産党さんはきちんと所属政党を名乗って立候補をされます。自分がどの政党に所属し、どのような政策や理念を持って立候補をしておられるのかを明確に打ち出し、その後の議員活動においてもそのスタンスを貫いておられます。私自身は「地方議会に政党色は必要ない」との立場から「無党派」であることを訴えています。選挙の際の約束に忠実である」という意味では、公明党さんや共産党さん、そして今回「自民党公認」を受けて立候補された蒲郡市議会の皆様も立派なことだと思っています。

本物の「無所属」なのか、政党に所属している「無所属」なのか…有権者の厳しい目に期待をしています。



Topics

「コロンブスレポート」と 「神谷まさひろ県政だより」の発行

平成11年7月に市議会議員に初当選させて頂いて以来「市政と皆様を結ぶ情報誌」コロンブスレポートをほぼ毎議会ごとに発行し、手配りと郵送により皆様のお手元に届けて参りました。しかし、郵送費等のコストが膨大になってきたことからコロンブスレポートの発行は年1回として、その代わりに、新たに「神谷まさひろ県政だより」を年4回程度発行をして、新聞折込やポスティングにより極力刈谷市内全世帯にお届けして参りたいと考えています。また、既に約43万件のアクセスを頂いているホームページやフェイスブックでの情報発信はこれまで通り続けて行きますので、ぜひご覧を頂き少しでも県政を身近に感じて頂けたら幸いに存じます。



Topics

「政治の原点は辻説法にあり」 街頭演説

県議会議員への立候補を決意した昨年の11月以来、アピタさん・エルシティさん・ピアゴさん・刈谷駅前などの街頭に立って自らの考えや政策を訴えて来ました。こうした街頭に立って訴えるという姿は平成11年の初当選前から続けていた活動なのですが、実は…市議5期目の4年間はほとんど行わずに正直に言ってサボっていました。それでも今回の県議選で私のことを始めて紹介された方などは「ああ、ヨーカドーの前でいつも街頭演説を熱心にやっている人ね」と仰って頂いていて、現実の自分とイメージとして抱いて頂いている自分とのギャップに恥ずかしい思いを何度もしました。



そのような反省に立ち、県議会議員としての4年間は常日頃から街頭に立って県政の情報や自らの考え方を発信して行くことを決意しています。見かけたらぜひ声を掛けて下さい。

ホームページアドレス
<http://www.kamiya.gr.jp>

Eメールアドレス
masahiro@kamiya.gr.jp